

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センターしんぱら担当圏域レベル） 開催報告書	
1 開催日時	令和 6 年 10 月 4 日（金） 10 時 00 分 ～ 12 時 00 分
2 開催場所	浜松市ふれあい交流センター浜北
3 参加者	・委員（自治会、民生委員児童委員協議会、地区社協、シニアクラブ、CSW、地域包括支援センター）：13名 ・行政（高齢者福祉課、長寿保険課）：4名 ・地域包括支援センターしんぱら：1名 ・市社協（浜北地区センター、地域支援課）：3名
4 協議の内容	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 委員紹介 4. 議事 （1）令和6年度生活支援体制づくり協議体 分科会報告について ①【浜名地区の委員より説明】 内容別紙（分科会報告資料） 【委員より感想・質問】 （委員）浜名地区全体を対象とした交流や研修活動をやられて、非常に雰囲気が盛り上がってきていると感じたが手ごたえはどうだったか。 （委員）難しい問題ではある。浜名地区といっても地域性が全然違い、若い方々が多い地区もあれば高齢者が多い地区もある。家事支援の会はどちらかというと高齢者が多い地区で段々浸透してきてつながりができてきた。元気な高齢者に、元気に参加してもらうことが良いことだと思うので、あえて全体に広げることではなく、仲間や繋がりを増やしてその分笑顔を増やせると良い。参加して楽しいと、次に知り合いを連れてきてくれる方もおり、とてもありがたい。元気に来ていただけることが何よりだと思っている。 （委員）会長から活発にとお話しがあり、ありがたいが、個人的にはこの協議体が始まった時に浜名地区と亀玉地区と話し合っ、いかに浜名地区がほとんど何もやっていないかとショックを受けた。亀玉地区に少しでも近づきたい、追いつきたいとの思いで社協も家事支援もやっている。そういう意味では足元くらい見えてきたかなと感じてい

る。先ほど話しがあったように浜名地区、具体的に言うと内野台が40%近い高齢化率、染地台はやっと10%になった。そういうばらつきがあり、家事支援はどちらかというと高齢者の方に関わり、根本は福祉である。できるだけ治療や入院をせず、少しでも健康に生活が送れる手助けをすることが基本だと思っている。家事支援以外に地区社協として考えたボッチャもまさにそういうことで、出来るだけ集まって元気に身体を動かして顔を見てお互い楽しむということ。家事支援の交流会も基本はそこで、皆で集まって会話をし、輪が広がっていくということをまずはやりたい。そうして少しでも亀玉地区に近づきたいと思っている。亀玉地区と同じことをやるのではなく、地域でニーズがあると思うのでそこを少しでも手繰り寄せながらやっていく。そのため全体に網をかけるというやり方もあるが、今は少しずつ手探りをしている状態である。

（委員）この協議体というのは幅広い地域の人たちが集まって交流してお互いが学び合いながら自分たちの地域の活動のパワーアップをしていくというところに目的があると思う。今日のお話はとても参考になった。

②【亀玉地区の委員より説明】

内容別紙（分科会報告資料）

【委員より感想・質問】

※補足事項

（会長）移動支援サービス未着手となっているが、このしんばら圏域の中でもテーマとしてずっと検討を続けてきている。方向性やある程度の見極めをした中で、地区の中の具体策をどうしていくかを検討していく予定としている。現状具体的などころまでは検討ができていないが、見当違いのことをしてもいけないので、こちらの検討状況と整合性をとりながら進めていく。子ども食堂の食材支援は、ずっと続けてきているが今年度から資金的な支援もすることを決めた。独自の助成金として年間で2万円出すことを決めた。今後も継続していく予定。

（委員）先ほど言い忘れたがパンダクラブは年に2回、リズム遊びとしてスタッフだけではできない関係で、子育てセンターしんばらから応援に来てくれている。今年度は既に1回終わり次回11月予定。子ども食堂について、7月に学校懇談会があり、その席で先生から子ども食堂の話が出たため、亀玉でも始まったと案内を渡した。個々の生徒に渡すのは難しいかもしれないが全体的な案内としてならできそうな感じであった。またそういったところから広がりがあるかと思われる。

（委員）子育てサロンから高齢者サロンとあるが、幼児から始まって高齢者まで全年齢をカバーできる支援体制がラインナップされたと思っている。

（2）令和5年度生活支援体制づくり協議体の実施内容について

内容別紙（令和4年度・5年度のしんばら協議体、移動支援に係る協議内容について）

（事務局）協議体会議の中で出た意見と同様のものもあり、協議体と地区社協の考え方

に大きなずれはなかった。地区社協にも必要性は十分に理解してもらえていると思う。実際にどのような内容であれば移動支援に取り組んでいけるかということを、事例報告も参考にさせていただきながらご意見をいただいて、提案書の案を作成していければと思う。

(3) 移動支援について事例報告

※時間の関係で次回会議に持ち越し

(会長) 先ほどの説明で、これまでの経緯やこの協議体としてどういうことをしていこうかと考えているのかをご理解頂けたと思う。前回2か所の事例の報告をしてもらい、2か所だけでは足りないのではということで、もう3か所行っていただく。この事例について、次回説明していただき、お配りしている5つの事例を並べた資料を基に、先進事例を見たうえで皆さんどう考えるか、その中でこんな方法であればこの地域でも実施できるのではないかとすることを次回一つの案としてまとめられればと考えている。事例の資料を次回までに目を通していただいて、説明を聞いたうえで皆さんの意見を聞きながら次回進めていきたいと思っている。

5. その他

・委員報酬のお渡し方法の変更について。今年度より口座振り込みで対応することとなる。来年3月にまとめて振り込み。必要書類を10/31までに提出。

・次回協議体会議の日程 11/29(金)10:00～予定

(事務局) 皆さんありがとうございます。会長の方からお話があったように事例を3つ用意しており、その中の一つ御殿場市についてはDVDを用意していた。事例を見ていただいて次回話し合いをということだが、DVDだけでも本日見ていただければ。

御殿場市東山・二の岡生活支援お助け隊 DVD鑑賞

5 今後の見通し・ 必要な対応

時間の都合上、事例報告は次回会議で行うことになった。新たに3ヶ所の事例報告を行い、先進事例を参考にしんばら圏域でどのような内容であれば移動支援を実施できそうか検討する。次回会議までに実施案を作成して、それをもとに市行政に向けた意見書案を作成する。